

平成30年度事業報告

【 就労支援・販売・受託事業 】

1 共同受注事業

- 平成30年度さかえちよう公園休養施設清掃委託業務受託
平成30/4/1～31/3/31
- 平成30年度秦野市本庁舎等庭園管理委託業務受託
・フラワーポット(本・分・西庁舎)、本庁舎正門花壇及びモニュメント花壇の
植替え業務受託 弘済学園
- 秦野市文化会館事業協会 焼菓子・自主製品販売ー2回 8月18日、12月9日
大根工芸、かがやき、やまばと、松下園、ちっちゃな星の会
- 秦野市の行事記念品作成等業務受託
10/20 社会福祉大会、10/20 パラスポーツフェス
12月 心の贈り物(クリスマスプレゼント)
- 戸川公園花壇植え込み業務受託
夏: くず葉学園 秋: くず葉学園
- 東名売店委託販売(中井サービスエリア) 大根工芸
- NEXCO中日本草刈業務受託
・東名周辺及び高架下 夏・秋2回 かがやき 2か所、くず葉学園 1か所、

2 各事業所自主製品の販売促進事業

- (1) 秦野市市営鶴巻温泉「弘法の里湯」内の売店「やまなみ」にて
各事業所の自主製品の販売
[出品事業所] ①大根工芸 ②くず葉学園
③秦野ワークセンター ④鶴巻工芸
- (2) 「イオンの日」イオン秦野店地域貢献の日にて展示即売会 実施日 毎月11日
(ただし、6月は悪天候のため中止)
[出店事業所] ①秦野精華園 ②弘済学園 ③ちっちゃな星の会
④くず葉学園 ⑤松下園 ⑥ゆめ散歩
- (3) 戸川公園チューリップ祭 実施日 4月8日～15日(内、14、21、22日出店)
[出店事業所] ①ゆめ散歩 ②ちっちゃな星の会 ③秦野ワークセンター
- (4) 秦野市中央運動公園プール内の売店にて物販 実施日 7月1日～9月4日
[実施事業所] あげぼの
- (5) パラスポーツフェス 実施日 10月20日 秦野市体育館 ゆめ散歩
- (6) 秦野たばこ祭 実施日 9月22日、23日
青空市場 他 ①ちっちゃな星の会 ②秦野ワークセンター ③ゆめ散歩
④弘済学園 ⑤やまばと学園 ⑥にこにこパン工房

(7) 戸川公園祭り 実施日 10月20日 ①秦野ワークセンター ②ゆめ散歩
[出店事業所] ③ちっちゃな星の会

(8) 弘済ひなた祭り 実施日 11月4日 場所 弘済学園 敷地内
[出店事業所] ①ゆめ散歩 ②大根工芸 ③にこにこパン

(9) 「イオン秦野店周年祭」展示即売会 実施日 11月10～11日
[出店事業所] ①ちっちゃな星の会 ②鶴巻工芸 ③秦野ワークセンター
④秦野精華園 ⑤弘済学園 ⑥松下園 ⑦みんなの広場
⑧ゆめ散歩

(10) ぱれっと感謝祭 実施日 11月17日
[出店事業所] ①にこにこパン ②ハッピーラボ ③ゆめ散歩

(11) さかえちよう公園イルミネーションフェスティバル 実施日 12月8日～24日
[出店事業所] ①あけぼの ②ちっちゃな星の会 ③秦野精華園
④みんなの広場 ⑤ハッピーラボ ⑥ゆめ散歩

[オブジェ出展事業所・団体]

①秦野精華園 ②うぐいすの家 ③大根工芸 ④かがやき
⑤ちっちゃな星の会 ⑥鶴巻工芸 ⑦松下園 ⑧くず葉学園
⑨秦野ワークセンター ⑩ライフステージ・悠トピア ⑪ひまわり
⑫あけぼの ⑬大道商和会 ⑭大道自治会 ⑮ゆめ散歩

(12) 曾屋神社 節分祭 展示即売会の実施 実施日 2月3日
[出店事業所] ゆめ散歩

(13) ポイントカード 年間使用枚数 56枚 2800円

3 自販機管理事業

[実施事業所]

①うぐいすの家	秦野市総合体育館	=2台
②かがやき	秦野市おおね公園	=2台
③機構	公民館(西、渋沢)	=2台
	秦野市役所	=3台
	さかえちよう公園施設	=1台
	ぱれっとはだの	=2台

4 さかえちよう公園・ゆめ散歩における各種イベント

7月6日～8日 七夕まつり

飾り付け参加事業所

かがやき、鶴巻工芸、くず葉学園、松下園、大根工芸
やまばと学園、うぐいすの家、秦野ワークセンター
あすなる会、ちっちゃな星の会、ひまわり、
みのりの家、みんなの広場

8月4日 大道商和会夏祭り
9月22日・23日 「秦野たばこ祭り」イベント
12月8日～24日 イルミネーションフェスティバル

5 ともしびショップ ゆめ散歩内就労

事業所より受け入れ人数	10名	(内訳 知的-8名、精神-2名)
一般受け入れ人数	4名	(内訳 知的-1名、精神-2名、身体-1名)
養護学校アセスメント受け入れ	7名	
一般アセスメント受け入れ	7名	(内訳 知的-2名、精神-5名)

6 就労実績

・ニッセーデリカフーズ(清掃)	…1名(精神)
・しんわろネッサンス	…1名(知的)

7 その他活動

(1) 東日本大震災支援活動

- ・チャリティ義援金BOXの設置(各イベントにて)
- ・宮城県女川町の障害者施設「きらら 女川」製造の「おからかりんとう」「あげまんじゅう」、および「南三陸町産生わかめ」「焼きのり」の販売(3月11日)

(2) 共同受注活動

- ・宅配ずし「銀のさら」箸セット袋づめ
- ・中谷商工 ボールペン箱詰め
- ・たけのこ学級 菓子パン納入

8 会議等

平成30年4月～平成31年3月
1回/2週間

ともしびショップゆめ散歩会議
(スタッフ会議兼ケース会議)

平成30年5月17日

理事会・通常総会

平成30年10月5日

合同面接会(秦野)

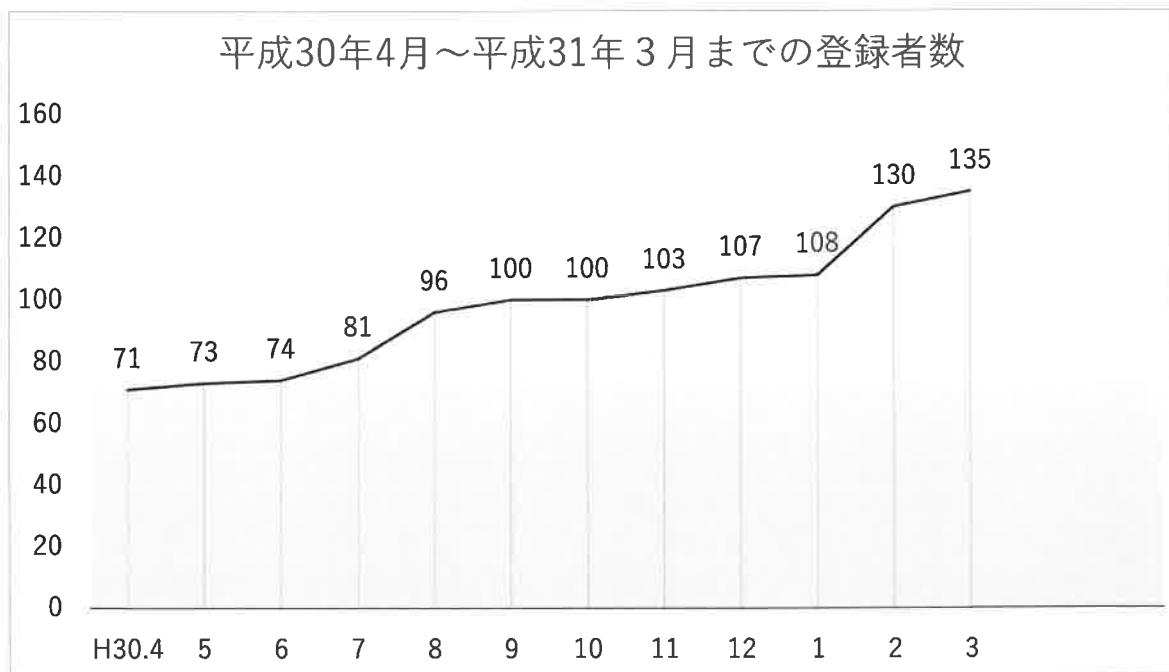
平成31年2月16日、17日

機構研修会

平成31年3月28日

理事会(予算会議)

平成 30 年度就労相談実績

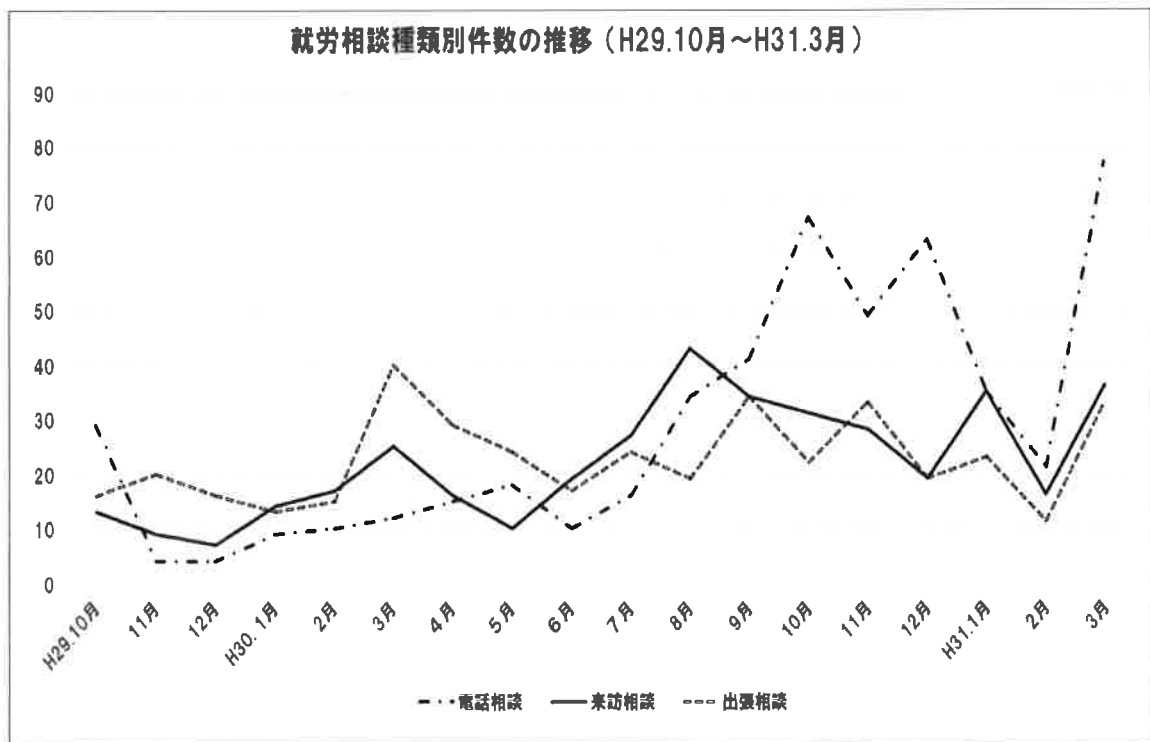


平成30年度の利用者の内訳（平成31年3月現在）

利用内容	人数
相談のみ(登録なし)	23
登録+福祉サービス	17
登録+求職	20
登録+定着支援	98
登録者総数	(身11 + 知84 + 精40) = 135

平成30年度 ぱれっとはだの 就労相談件数

月	電話相談	来訪相談	出張相談	合計
H30. 4月	5	16	29	50
5月	12	13	31	56
6月	8	19	17	44
7月	16	27	24	67
8月	34	43	19	96
9月	41	34	34	107
10月	67	31	22	120
11月	49	28	33	110
12月	63	19	19	101
H31. 1月	35	35	23	93
2月	21	16	11	48
3月	77	36	33	146
合計	428	289	295	1012



【 相談支援事業 】

1 相談支援事業の体制

(1) 対象者

障害・病気がある方及びその家族

(2) 開所日及び開所時間

月曜日～土曜日(祝祭日を除く) 9時30分～17時30分
但し、12月29日～1月3日の年末年始は休業

(3) 相談形態

電話、面談、訪問・同行、メール 等

2 事業概要

(1) 一般相談支援(秦野市からの委託事業)

- ・福祉サービスの利用援助(情報提供・相談等)
- ・相談支援事業の促進に係る企画、立案
- ・社会資源を活用するための支援(各種支援施策に係る助言・指導)
- ・社会生活力を高めるための支援
- ・権利擁護のために必要な援助及び成年後見制度の推進
- ・秦野市障害者支援委員会の運営支援
- ・その他必要な支援

(2) 基幹相談支援センター業務(秦野市からの委託事業)

- ・地域の相談支援事業者で対応することができない個別事例への対応
- ・相談支援専門員に係る人材育成
- ・利用者の支援に係る広域的な調整
- ・市内相談支援事業者との連絡調整
- ・秦野市障害者支援委員会の運営支援
- ・秦野市障害者支援懇話会の運営支援
- ・児童発達支援センターとの連携

(3) 指定特定相談支援、障害児相談支援、一般相談支援(地域移行支援・地域定着支援)

- ・サービス等利用計画及び障害児支援利用計画の作成、相談支援
- ・入院及び施設入所支援利用者に対する地域移行支援及び地域定着支援計画の作成、相談支援

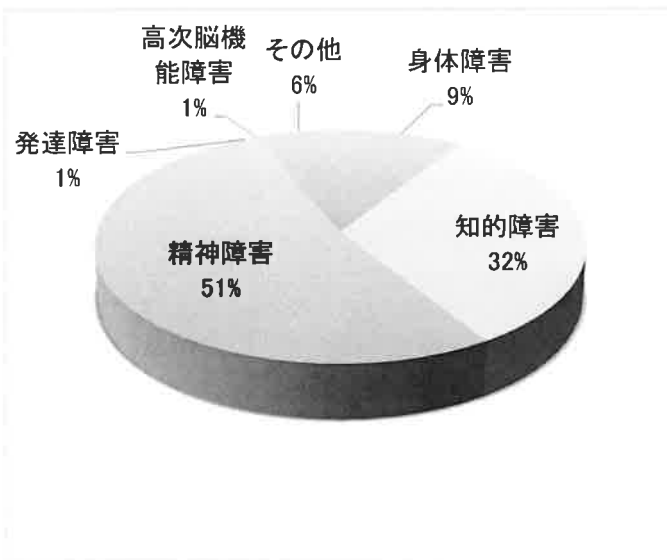
(4) 障害支援区分認定調査(秦野市からの委託事業)

3 事業内容

(1) 平成30年度委託相談支援事業活動実績

a. 相談支援を利用した障害者等の実人数

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	合計
障害者	21	0	66	116	3	1	13	220
障害児	0	0	8	2	0	0	1	11
合計	21	0	74	118	3	1	14	231



精神障害の割合が約半数を占めている。

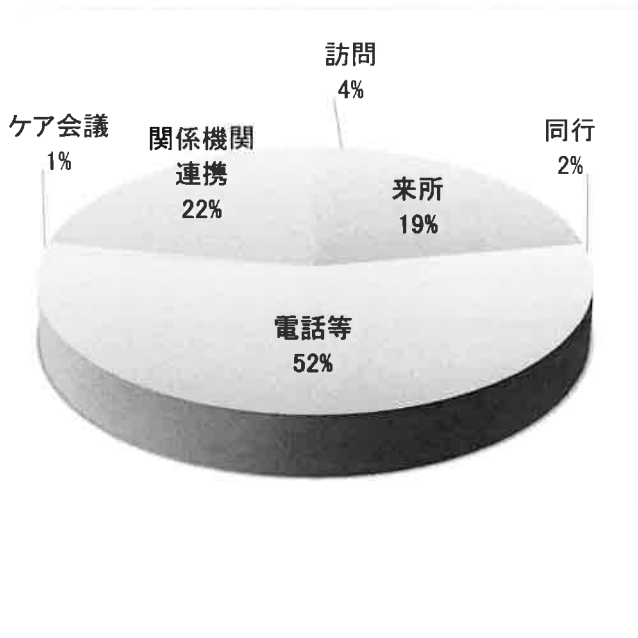
また、前年度実績は1ヶ月平均が24件であったが、今年度は19件となった。

新規の相談者が増えてきており、実人数としては増えている。

【平成29年度下期実績】合計 149人
精神障害 44%、知的障害 34%、身体障害 11%、発達障害 3%、その他 8%、

(※)電子メール、FAX、郵送含む

	訪問	来所	同行	電話等	ケア会議	関係機関連携	合計
件数	64	348	40	963	26	407	1,848



電話による相談は半数を占めている。訪問や同行にも件数は増えてきている。

関係機関との連携は積極的に行った。

【平成29年度下期実績】合計 842件
電話等 57%、来所 18%、関係機関連携 17%、訪問 6%、同行 1%、ケア会議 1%

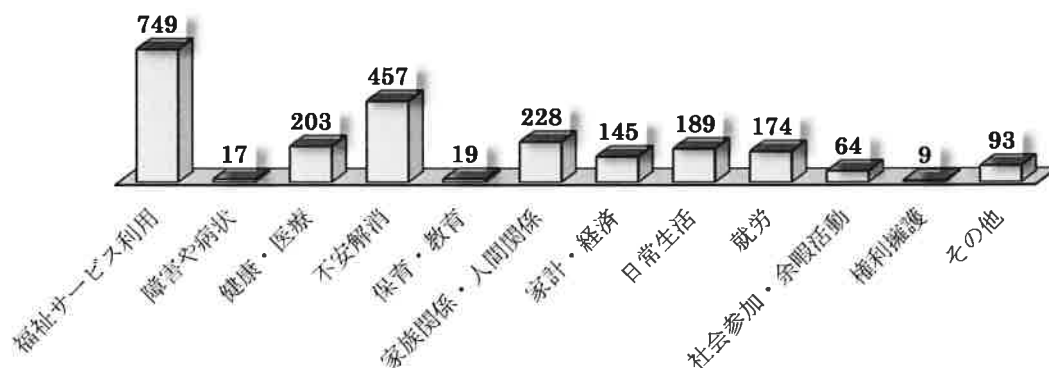
C. 支援内容

※1回の面談で内容が多岐にわたる場合、複数カウントしている。

	福祉サービス利用	障害や病状理解	健康・医療	不安解消	保育・教育	家族関係 人間関係
件数	749	17	203	457	19	228

	家計・経済	日常生活	就労	社会参加 余暇活動	権利擁護	その他
件数	145	189	174	64	9	93

	合計
件数	2,347



【平成29年度下期実績】 合計 1,137 件

福祉サービス利用 391 件、障害や病状理解 30 件、健康・医療 172 件、不安解消 158 件、保育・教育 4 件、家族関係・人間関係 112 件、家計・経済 42 件、日常生活 60 件、就労 95 件、社会参加・余暇活動 12 件、権利擁護 28 件、その他 33 件

精神障害の方からの不安解消や人間関係のトラブル等での相談件数が増えている。

社会参加・余暇活動に関する相談も増え、当所の地域活動支援センター等の紹介や利用につなげている。

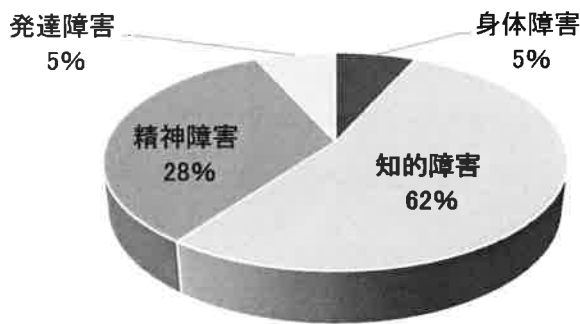
(2) 基幹相談支援センター業務(委託)

個別事例、地域支援件数等

基幹相談支援センターとして、地域の相談支援事業所に対応することのできない個別事例への対応及び、市内相談支援事業所の連絡調整や相談支援専門員の人材育成等を目的に、相談支援事業所等連絡会を開催した。

a. 相談支援を利用した障害者等の実人数

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	合計
障害者	1	0	8	5	1	0	0	15
障害児	0	0	3	0	0	0	0	3
合計	1	0	11	5	1	0	0	18

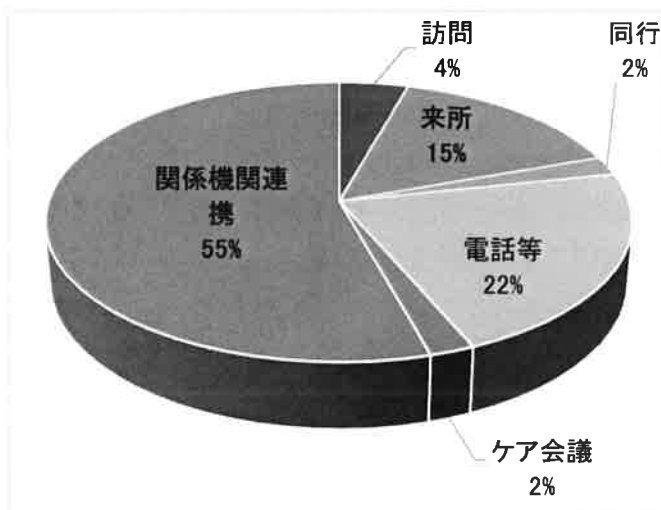


計画相談支援事業所の困難事例等に対するアドバイザー及び計画相談へのつなぎ役として対応している。

【平成29年度下期実績】合計 6人
知的障害 67%、身体障害 33%

b. 支援方法(延べ件数)

	訪問	来所	同行	電話等	ケア会議	関係機関連携	合計
件数	2	7	1	10	1	25	46



ケア会議の開催や出席、関係機関との連絡調整等を中心に支援を行った。また、新規計画相談やサービス利用等の為に、相談者と事業所を「つなぐ」パイプ役を行った。

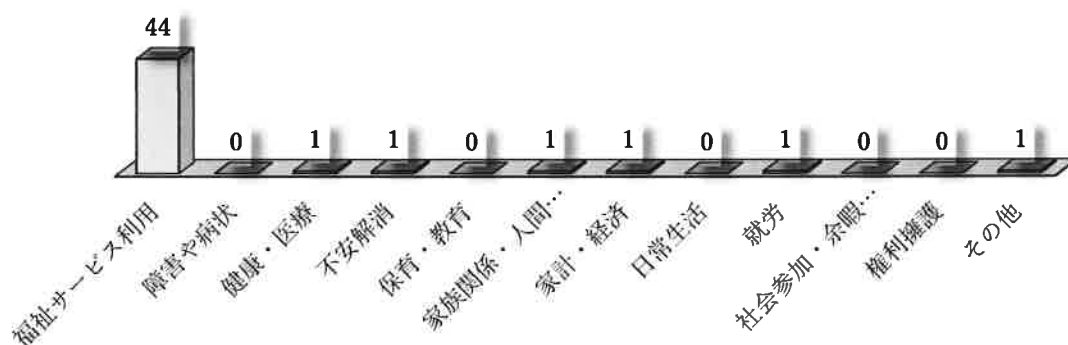
【平成29年度下期実績】合計 34件
関係機関連携 47%、ケア会議 20%、来所 18%、訪問 6%、電話等 6%、同行 3%

※相談方法から支援方法に実績集計を変更。

c. 支援内容

※1回の面談で内容が多岐にわたる場合、複数カウントしている。

	福祉サービス利用	障害や病状理解	健康・医療	不安解消	保育・教育	家族関係 人間関係
件数	44	0	1	1	0	1
	家計・経済	日常生活	就労	社会参加 余暇活動	権利擁護	その他
件数	1	0	1	0	0	1
	合計					
件数	50					



【平成 29 年度下期実績】 合計 45 件
 福祉サービス利用 33 件、健康・医療 3 件、不安解消 1 件、家族関係・人間関係 2 件、日常生活 1 件、就労 3 件、その他 2 件

年々、福祉サービスの利用を希望する人が増えており、計画相談の新規受け入れが厳しい状況がある。

懇話会相談部門へ計画相談の現状の課題を報告し、解消に向けた提案を投げ掛けた。

権利保障実践チーム H30 年度実績報告

【件数】

実人数 23名（延べ 156名）

【相談内容】

- ①権利侵害 9件（消費者被害など）
- ②権利擁護 17件（損害求償など）
- ③成年後見 44件
- ④支援困難 63件（多問題家族など）
- ⑤研修開催 12件（開催2件、その他、内容や日程調整10件）
- ⑥その他 11件

【考察】

・【成年後見】は、申立が必要なケースか？誰が申立を行えるか？という全般的な相談が多かった。他には後見申立が進まないという相談や親族後見人に対する相談などがあった。弁護士や秦野市成年後見利用支援センターに協力を得ることで、終結に向かった。

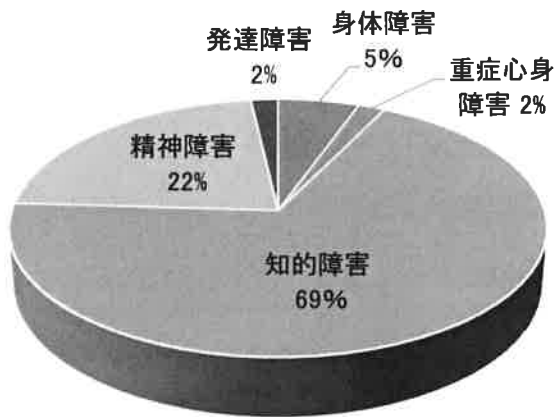
・【支援困難】は、家族全体に支援が必要だが、適切な社会資源が見つからず、支援者が孤軍奮闘しているケースが多かった。スーパーバイザーを派遣し、グループスーパービジョンを行うことで、少しずつ進展が見られるケースも多かったが、次々に課題が見つかり、なかなか解決につながりにくい傾向が見られた。

・【権利侵害】はすべて、消費者被害に関する相談となった。弁護士を会議に派遣することで、法律の専門相談につながり終結となった。

(3) 指定相談支援事業

a. 相談支援を利用した障害者等の実人数

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	合計
障害者	3	1	37	12	1	0	0	54
障害児	0	0	2	0	0	0	0	2
合計	3	1	39	12	1	0	0	56



制度改正に伴い新規の計画相談(就労定着)の相談が増えた。

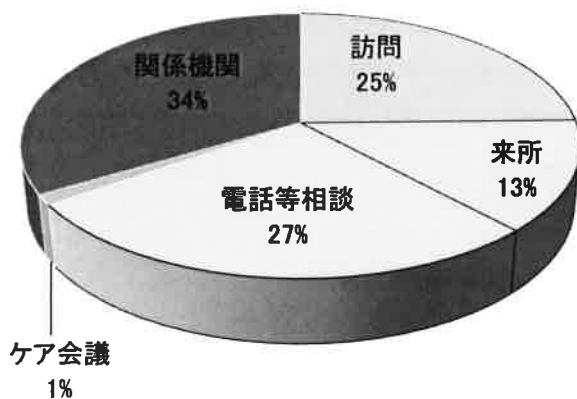
知的障害者は継続して割合が高く、精神障害者の相談も増加している。

【平成 29 年度下期実績】 合計 22 人
知的障害 68%、身体障害 14%、精神障害 14%
重症心身障害 4%

b. 相談方法(延べ件数)

	訪問	来所	電話等	ケア会議	関係機関連携	合計
件数	140	76	154	7	190	567

※電子メール、FAX、郵送含む



モニタリングについては、訪問が加算の対象になっている。

複数のサービスを組み合わせていることから関係機関との連携が多くなっている。

【平成 29 年度下期実績】 合計 103 件
関係機関連携 37%、電話等 26%、訪問 20%、来所 12%、ケア会議 5%

※相談方法から支援方法に実績集計を変更。

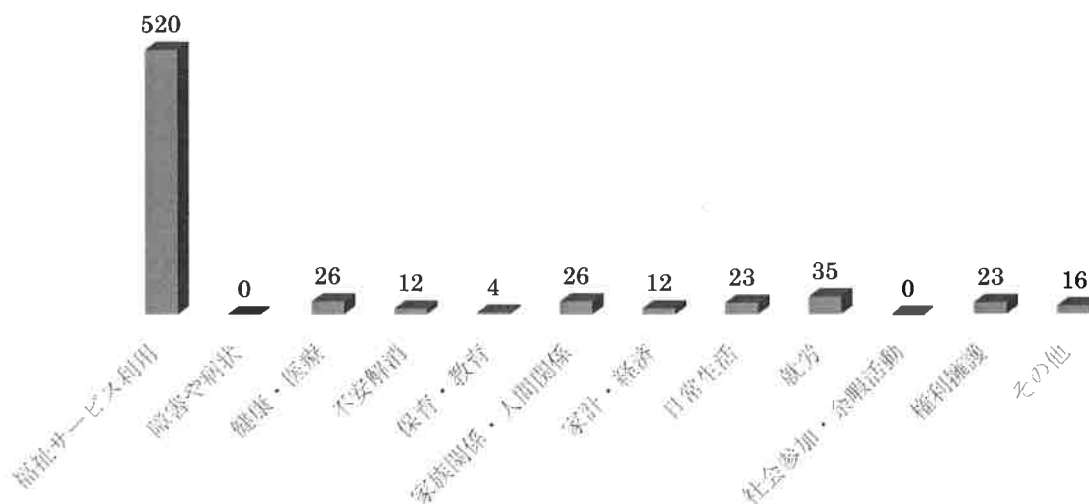
C. 支援内容

※1回の面談で内容が多岐にわたる場合、複数カウントしている。

	福祉サービス利用	障害や病状理解	健康・医療	不安解消	保育・教育	家族関係 人間関係
件数	520	0	26	12	4	26

	家計・経済	日常生活	就労	社会参加 余暇活動	権利擁護	その他
件数	12	23	35	0	23	16

	合計
件数	697



【平成 29 年度下期実績】 合計 116 件

福祉サービス利用 101 件、健康・医療 6 件、家族関係・人間関係 3 件、日常生活 1 件、就労 2 件、社会参加・余暇活動 2 件、権利擁護 1 件

市内の障害者の計画相談は 20%、障害児は 50%がセルフプランでサービスを利用している。身体状況の変化等で計画相談を必要としている方に十分な支援が出来ていない状況である。

相談支援を必要としている方に計画相談を行っていくために、懇話会相談部門に状況を伝えると共に、支援委員会まで上げていくことができた。今後、相談支援体制をより一層強化すると共に、養護学校卒業生や新規の相談について連絡会を通じて課題解消に向けて取り組んでいきたい。

(4) 障害支援区分認定調査

平成 30 年度も、調査員の分担については秦野市が年度当初に一括して事業所へ依頼をしており、調査員の派遣のみを秦野市から委託を受けて実施した。秦野市内外を含めて 105 件の調査を実施している。新規ケースの依頼を都度受けているが、年々増加傾向にある。また、早急に区分が必要なケースや、連絡調整や対応に工夫が必要なケースも多かった。

【 地域活動支援センター事業 】

1 フリースペース

秦野市在住の精神障害の方を対象として「居場所の提供」やプログラムの実施を行いました。

- (1) 開所日数 247 日
 (2) 登録者人数 61 名 (男性31名、女性30名)
 (3) フリースペース延べ利用者数 1,140 名 (男性614名、女性526名)
 (4) フリースペース月別実人数利用者数 (※1ヶ月平均利用者数19.5名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	8	9	15	13	13	14	15	9
女性	6	7	9	7	6	7	12	7
合計	14	16	24	20	19	21	27	16

	12月	1月	2月	3月
男性	6	10	12	13
女性	10	11	9	7
合計	16	21	21	20

2 事業活動実績

- (1) ピア相談会事業 (毎月第3火曜日定期開催)
 ピアサポーターによる相談会を開催しました。

- ①開催回数 12回
 ②ピアサポーター活動延べ人数 24人

- (2) ピアのつどい (毎月第1木曜日開催)
 相談会及び、普及啓発事業での活動についてピアサポーター同士で振り返りや意見交換等を行いました。

- ①開催回数 12回
 ②ピアサポーター活動延べ人数 30人

- (3) ピア学習会事業 (平成30年10月～平成31年3月まで月1回開催)
 医師や相談員による講義、当事者による体験発表等の学習会を開催し、ピアサポーターの養成を行いました。

- ①開催回数 6回
 ②ピアサポーター新規登録者 3名

- (4) ピア活動普及啓発事業及び、地域交流事業
 ピア活動及び、精神障害者への理解を図るために地域住民、学校、精神科病院等との交流事業を行いました。

- ①活動回数 16回
 ②活動内容
 ・みくるべ病院退院促進プログラムでの助言
 ・大根・鶴巻中学校生徒と地域作業所との交流
 ・秦野曾屋高校「特色教室」での体験発表
 ・東京医科歯科大学、国際医療福祉大学での体験発表

3 相談支援

精神障害者及び、その家族からの相談を行い、必要に応じて家庭訪問や市等の相談窓口との調整・同行等の便宜、病院等への同行支援を行いました。

- (1) 開所日数 292 日
 (2) 相談者実人数 579 名 (男性306名、女性237名、不明36名)
 (3) 支援件数 1,695 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
電話	131	45	83	123	92	70	145	90
面談	41	13	24	35	25	21	14	34
訪問	12	7	9	12	11	12	9	9
同行	0	0	1	2	1	2	0	0
合計	184	65	117	172	129	105	168	133

	12月	1月	2月	3月	合計
電話	90	81	144	158	1252
面談	16	18	32	24	297
訪問	14	7	15	23	140
同行	0	0	0	0	6
合計	120	106	191	205	1,695

(4) 相談内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
福祉サービス利用	23	16	33	53	55	21
障害・病状について	4	4	0	3	3	0
健康・医療関連	5	12	8	16	8	13
不安解消・情緒不安定	7	15	37	47	37	31
家族関係・人間関係	10	4	1	21	7	18
家計・経済	16	5	6	16	4	5
就労	3	4	2	8	7	11
社会参加・余暇活動	0	2	3	2	4	5
その他	9	14	7	30	11	17
合計	77	76	97	196	136	121

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
福祉サービス利用	47	61	61	22	72	59	523
障害・病状について	3	4	4	1	6	6	38
健康・医療関連	19	26	19	12	8	16	162
不安解消・情緒不安定	53	48	37	42	49	74	477
家族関係・人間関係	31	15	13	2	3	5	130
家計・経済	25	10	4	7	9	7	114
就労	13	17	14	7	13	7	106
社会参加・余暇活動	7	13	2	0	2	3	43
その他	16	13	13	13	22	27	192
合計	214	207	167	106	184	204	1,785

平成30年度 決算(案)

第2号議案

< 一般会計 >

		予 算	決 算	備 考
① 総務				
収 入	繰り越し金	3,929,166	3,929,166	平成30年度繰り越し金
	市運営費補助	13,374,000	12,474,000	
	県共募配分金(過年度分)	0	3,680,000	
	会費	538,000	548,000	法人8、個人・団体10、賛助会員6
	NPO法人負担金	600,000	600,000	ランニングコスト負担金
	雑入	450,000	1,888,134	研修会負担金、寄付金、利子等
	就労支援より繰り入れ	2,553,000	2,241,520	
	地域活動より繰り入れ	1,368,000	2,082,098	
	相談支援より繰り入れ	0	797,701	
	販売・受託より繰り入れ	0	205,481	
合計		22,812,166	28,446,100	
支 出	事務用消耗品購入費	279,000	842,850	
	車両維持管理経費	600,000	295,484	
	センターランニングコスト	6,000,000	4,407,957	保守点検、光熱水費等
	借入金返済(建設事業借入)	2,010,000	1,967,815	元金1,500,000円、利息467,815円
	報酬費	6,900,000	6,900,000	
	理事等活動経費	780,000	780,000	
	理事会経費	100,000	66,846	
	研修会経費	500,000	560,267	
	労務・会計管理費	600,000	1,098,268	社保3月分預かり350,668円含む
	販売受託へ繰り出し	280,000	0	
	相談支援会計へ繰り出し	834,000	0	
	基金へ積戻し	0	4,000,000	
	予備費	3,929,166	0	
合計		22,812,166	20,919,487	
収支差額		0	7,526,613	
② 販売・受託 (共同受注等)				
収 入	ゆめ散歩売上	2,000,000	2,254,750	
	事業収入 (共同受注・自販機)	4,200,000	6,649,768	
	にじ散歩売上	4,500,000	4,885,635	
	公園管理受託	220,000	238,680	さかえちよう公園
	総務より繰り入れ	280,000	0	
合計		11,200,000	14,028,833	
支 出	ゆめ散歩仕入	1,800,000	1,954,189	事業所等への支払い分
	ゆめ散歩利用者賃金	800,000	849,329	
	就労支援員 1名分	2,900,000	3,046,023	
	共同受注・自販機管理	3,200,000	4,610,000	
	自販機電気料	500,000	362,234	
	にじ散歩仕入	2,000,000	2,636,045	食材費等
	ゆめ散歩・にじ散歩雑支出	0	365,532	
総務へ繰り出し		205,481		
合計		11,200,000	14,028,833	
収支差額		0	0	

		予 算	決 算	摘 要
③ 就労支援				
収 入	市就労等支援事業委託	10,773,000	10,773,000	
	雑収入	0	1,500	就労実習時保険料自己負担分
合計		10,773,000	10,774,500	
支 出	就労支援員 3名分	6,500,000	6,897,686	旅費消耗品費
	総務事務職員 1名分	1,200,000	1,200,000	
	就労支援事業諸費	520,000	435,294	
	総務へ繰り出し	2,553,000	2,241,520	
合計		10,773,000	10,774,500	
収支差額		0	0	
		予 算	決 算	摘 要
④ 相談支援				
収 入	市相談支援委託料	23,789,000	23,789,000	
	相談自主事業収入他	0	1,941,498	
	総務費より繰入	834,000	0	
合計		24,623,000	25,730,498	
支 出	相談員 4名分	16,923,000	18,567,251	(認定調査員を兼務) 弁護士費用、活動費、消耗品等
	総務経理 2名分	5,800,000	5,767,518	
	相談事業諸費	1,300,000	261,068	
	パソコン備品等	600,000	336,960	
	総務費へ繰り出し		797,701	
合計		24,623,000	25,730,498	
収支差額		0	0	

		予 算	決 算	摘 要
⑤ 地域活動				
収 入	市地活運営委託	11,800,000	11,812,040	
合計		11,800,000	11,812,040	
支 出	地域活動担当委嘱経費	3,132,000	2,766,132	消耗品備品購入等
	地域活動経費	1,700,000	1,707,473	
	地域交流事業人件費	4,200,000	4,094,792	
	イルミ等普及啓発費	600,000	627,292	
	地域活動雑費	800,000	534,253	
	総務費へ繰り出し	1,368,000	2,082,098	
合計		11,800,000	11,812,040	
収支差額		0	0	

※参考

	予 算	決 算
一般会計総収入(特別会計を除く)	81,208,166	90,791,971
一般会計総支出(同上)	81,208,166	83,265,358
差額	0	7,526,613

< 特別会計 >

⑥ 地域生活支援基金 30年度末	
平成30年度総会にて規約承認	5,500,000
合計	5,500,000

※基金の動き

28年度末残高	6,500,000円
29年度繰出し	5,000,000円
30年度繰入れ	4,000,000円

平成31年3月31日

上記のとおり報告します

理事長

藤村和静 

事務局長

越光森茂 

平成30年度会計監査結果報告書

一般社団法人秦野市障害者地域生活支援推進機構

平成 30 年度収支決算について、証拠書類と貸借対照表など諸帳簿について監査したところ、正しく処理されており、すべて適正であった事を証明します。

令和元年 5 月 10 日

監事 宮本 英子

